

ごとう通信

第 72 号

平成 18 年 12 月 1 日

今年も年末が迫ってきました。これからクリスマス、そして年末年始と一気に行きますね。師走とはよく言ったものでなぜか気分がそわそわしてしまいます。寒さも本格化しますから体調を崩さないようにしまし
よう。

毎年十二月の「ごとう通信」を作る時に感じるのですが、十二月一日はふれあい歯科ごとう開院日、今年で丸三年がたちました。言い尽くされ



た言葉を使うとあつという間の

三年間でした。最近では外来診

療も本当に忙しくなっています。

決して目立つ場所にもないし、

広告も出していないのに遠方か

らお運びいただき、感謝、感謝です。

また、来院していただく方があま

り気負いなく来ていただけているこ

と(たぶん!)が一番うれしいことで

す。まあ、僕たちも気負いなくやって

いるのですが…。これからもよろし

くお願いします。

平成十八年、いろいろありました

が、皆さんはどうでしたか。僕は本厄

を無事に過ぎせたなあという感じで

す。なんて言っても厄年のことはす

っかり忘れていて、先日、ある神社の

前で看板をボーっと見ていて気付い

たほどですから。あと一月で悪いこ

とがいつぱい襲ってこないように気

をつけます。

さて、来年もいつぱいチャレンジ

できる機会があります。その一つは

来春出版予定の「訪問歯科小説」です。

発売などが決まったらまた皆さんに

ご紹介できると思いますが、訪問歯

科診療の様子をあくまでもフィクシ

ョン(物語)という形で伝えたいと考

えています。もちろんモチーフにな

っているのはお世話になっている皆

さんたちですよ。

残念ながら現代社会ではシステム

や経済性、効率といったことが優先

され、医療の本質すら捻じ曲げられ

ているように感じます。しかし、僕た

ちが経験させていただいているケア

は温かく、血の通ったものです。そう

いうことが社会の中で少しでも分か

ってもらえればうれしいなあと思っ

ています。